

平成 29 年度事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日)

平成 29 年 3 月 15 日

公益財団法人 同盟育成会

【基本方針】

学寮事業の 2 寮体制が本格的に動き出して 3 年目、奨学金事業も平成 27 年度に大学学部生向けの給与奨学金を新設して 3 年目に入る。

29 年度は新規事業は予定しておらず、学寮、奨学金両事業とも、その充実に努める。

【収入見通し】

株式配当収入は、電通株 1 株当たり 80 円（平成 28 年度予算では 75 円）パナソニック同 20 円（28 年度予算と同額）、太平印刷 5 円（28 年度と同額）を想定し、平成 29 年度予算には、前年度予算比 514 万円増の 9,478 万円を計上した。

また、寮費収入も寮生の増加により前年度予算比で 298 万円増の 4,150 万円を見込んでいる。

一方、もう一つの収入の柱である特定資産の利息収入は、米ドルを 1 ドル 115 円、豪ドルを 1 ドル 80 円と想定し、前年度予算と同額の 1 億円を計上した。想定利回りも 28 年度予算と同様 2.8%程度となる。

以上に収益事業の賃貸料収入 3,240 万円などを加えた、平成 29 年度予算の経常収益は、28 年度予算の 2 億 6,074 万円をやや上回る 2 億 6,886 万円を見込んでいる。

【管理部門】

(1) 資産運用＝予算計上した年間収入 2 億 6,886 万円を達成するため、金融資産については、株式を除いて、予算の前提となる年間 2.8%の利息収入確保を目標に運用する。

ただし、比較的リスクの高い仕組債等は株式を含めた金融資産全体の 30%以内にとどめることを原則とし、財務体質の健全性を維持する。

(2) 役員改選＝評議員、理事、監事とも平成 28 年度決算に関する定時評議員会（平成 29 年 6 月 16 日開催予定）終結の時をもって任期が満了する。

これに備えて 4 月に評議員選定委員会で次期評議員を選任するとともに、6 月の定時評議員会で次期、理事、監事を選任する。

また、定時評議員会に続いて新メンバーによる理事会を開催し、代表理事を

互選する運びとなる。

(3) **事務局長交代**＝現事務局長は平成 29 年 6 月に任期満了により退職し、新事務局長と交代する。

(4) **事務局員新規採用**＝平成 25 年 7 月から事務局のパートタイム・アルバイトとして、経理や庶務を担当している佐倉理恵さんを 4 月 1 日付で正職員に採用する。

【学生寮事業】

(1) **平成 29 年度新入寮生の見込み**＝29 年 3 月 1 日現在の在寮生数は白山 51 人（定員 54 人）、市谷 41 人（同 62 人）。欠員数に今年度末の退寮予定者数（在寮延長希望者を含む）を加えた 29 年度の新規受け入れ可能数は白山 12 人、市谷 30 人となる。

これに対し、女子は応募者数 47 人、在寮延長希望者 2 人と受け入れ可能数を大幅に超えており、市谷寮は平成 29 年度期首から満室になる見通し。男子も応募者数は 17 人に達したが、不合格者や辞退者がかなりおり、白山寮は定員割れとなる可能性もある。

(2) **平成 30 年度新規入寮者募集**＝平成 30 年度の入寮生募集は、これまでの 2 段階方式から 1 回のみで切り替える方向で検討する。29 年度募集の実績から見て、1 次募集で男女とも定員を上回る応募が予想されるため、募集事務を省力化する意味合いからも、1 段階の方が合理的と思われる。

1 段階にした場合の、募集締め切り時期等は、過去の実績等を踏まえて慎重に検討する。

(3) **教育補助事業**＝毎年恒例の創立記念行事（10 月）、成人式（1 月）、新入寮生対面式（4 月）を財団主催で開催するほか、寮生が自主的に実施する予定の・新人歓迎会（4 月）、夏季キャンプ（8 月）、クリスマスパーティー（12 月）、退寮生送別会（2 月）、Toeic 受験（秋）等に補助金を支出する。各行事の実施に際しては、寮生が自主的に実施するものも含めて、原則として寮長が参加し、指導、監督に当たる。

(4) **保険・衛生**＝29 年度も財団の負担で、寮生希望者にインフルエンザの予防接種を受けさせるなど、寮生の健康維持に努める。

(5) **市谷寮第 1 期定期改修を延期**＝同盟学寮の中期修繕計画で平成 28 年 8 月に予定していた市谷寮の第 1 期定期改修は、建物の傷みが当初想定されたほど進んでおらず、平成 28 年度の事業計画で 29 年度以降に延期したが、市谷寮のメンテナンスを委託している大林ファシリティーズに建物の状態を診断してもらった結果、29 年度も大規模改修の必要はないと判断されたため、30 年度以降に再度先送りした。

ただし、市谷寮厨房の包丁まな板殺菌庫とフライヤー（揚げ物機）の交換

を予定しているほか、機械類の不具合がこれまで以上に多発することが予想されるため、29年度予算には、学寮会計の修繕費と消耗什器備品費を前年度予算比でそれぞれ50万円と20万円増額計上した。

【奨学金事業】

(1)新規採用目標＝大学院生を対象にした給与奨学金は29年度も新規15人の採用を目指す。達成できれば、大学院給与奨学生は28年度の32人から1人増加して33人となる。

また、大学学部生向け給与奨学金は、新規20人の採用を目標とする。目標通りなら、28年度の22人から10人増えて32人となる。

ただ、応募者が多数あれば、大学院生、大学生とも目標を上回って採用することも検討する。

(2)給与奨学生研修会＝大学院生、大学生とも年2回の研修会を実施する。時期は、9月と3月を予定しており、場所は9月横浜、3月東京とする予定。

【収益事業】

東京都渋谷区桜丘町の学寮跡地を、時間貸し駐車場を運営する日本パーキング株式会社に引き続き賃貸し、収益を事業費に充当する。 以上